

たちつとちぎ

2023

6

Vol.267

JA全農とちぎ 通信



特集

栃木県本部2030年ビジョン キックオフ!!!
“畜産”若手生産者・学生が奮闘!
持続可能な農業の実現に向けて
スマート農業の普及・理解促進へ

トピックス

「令和5年度 人材育成技術研修会」を開催
広報誌「Apron (エプロン)」栃木のにらを取材
県産カーネーションのプレゼントイベントを開催
ビール大麦収穫目前 県内の圃場を調査
JAグループ栃木 交雑種枝肉共励会を開催
とちぎの卓球少年・卓球少女を食で応援!
栃木の酒造が集結 「新酒楽しんで」

CONTENTS

- ・お知らせ
ヨークベニマルたちつとちぎフェア4周年!
- ・簡単レシピ
『かれのいのタイ風から揚げ』
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



©栃木県 とちまるくん

JAグループ栃木 / JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



栃木県本部2030年ビジョン キックオフ!!!

本会は、2030年の全農グループのめざす姿として「持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”であり続ける」を掲げ、それを実現するための6つの全体戦略を策定し、令和4年度から6年度までの中期計画に反映し、令和5年度は取り組み2年目がスタートしています。

全農栃木県本部は、このたび本県の農業情勢や営農実態等を踏まえ、各部門における2030年のめざす姿を「栃木県本部2030年ビジョン」として策定しました。

下記の全体ビジョンは、「栃木県本部2030年ビジョン」のスローガンと3つの柱になります。この「栃木県本部2030年ビジョン」の実践を通じて、県内生産者・JAの負託に応え、かけがえのない栃木県本部を目指します。

栃木県本部2030年全体ビジョン

**専門性と総合力を発揮し、
活力ある「産地とちぎ」を未来へつなぎます!**

- ◎私たちは、生産者・JAと共に、農業生産基盤の維持・拡大に挑戦します。
- ◎私たちは、変化する需要を的確に捉え、更なる販売力強化を実践します。
- ◎私たちは、環境保全型農業を推進し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

栃木県本部2030年ビジョン キックオフ大会を開催!

4月26日、本会全職員が集い、「栃木県本部2030年ビジョンキックオフ大会」を開催しました。各部門の2030年ビジョンについて各部長から説明を行い、職員一人ひとりの意識の統一を図りました。

中村県本部長からは「2030年までに“栃木県本部として何をすべきか”を一人ひとりが自分事として考えなければならない。チャレンジする勇気と最後までやりきる覚悟をもって、目標に向けて取り組んでほしい」と話し、「実践」することの重要性を訴えました。

終わりに、東京畜産事務所の高久所長より「人口減少や労働力不足など、目まぐるしい環境変化に今後どう対応していくか。これからの農業のため、事業の継続のため、全員で協力して未来へつなげましょう」と決意表明がありました。



中村県本部長



決意表明をする高久所長

若手の畜産農家が交流 後継者育成 技術・意欲向上に向けて

畜産部は4月19日、東京都中央卸売市場食肉市場で「令和5年度栃木県肉牛後継者・高等学校・大学校枝肉研究会」を開催しました。

本研究会は後継者育成としての役割を担い、次世代の畜産業界を担う若手生産者の交流の場を設け、肥育技術と生産意欲を高めることにより、栃木県の肉牛生産基盤の安定を図ることを目的としています。

今回は県内各産地から合計52頭が出品され、第1部では手塚大輔さん(JAしおのや)、第2部では真岡北陵高校、第3部では町井一貴さん(JAかみつが)がそれぞれ最優秀賞に輝きました。受賞者・受賞校は以下の通り。(敬称略)

第1部【後継者の部 交雑種】

	出品者	管内JA
最優秀賞	手塚 大輔	JAしおのや
優秀賞	田村 保則	JAしもつけ

第2部【高等学校・大学校の部 黒毛和種】

	出品校
最優秀賞	真岡北陵高校
優秀賞	真岡北陵高校
優良賞	栃木農業高校

第3部【後継者の部 黒毛和種】

	出品者	管内JA
最優秀賞	町井 一貴	JAかみつが
優秀賞	加藤 真佑	JAなす南
優良賞	池沢 朋紀	JAなすの
優良賞	斉藤 雄志	JAおやま



最優秀賞を獲得した町井さん(第3部)

高校生が自ら育てたとちぎ和牛をPR 3年ぶりの店頭試食販売再開！

上記の出品牛のうち、高校生の育てたとちぎ和牛がフードオアシスOTANI全18店舗で販売され、5月13日には那須拓陽高校・宇都宮白楊高校・鹿沼南高校・真岡北陵高校の生徒がそれぞれの地域の店舗で店頭立ち、試食販売を行いました。新型コロナウイルスの影響で試食販売は3年ぶり。生徒たちは、訪れたお客さんに試食を提供しながら積極的にコミュニケーションを図るほか、手作りのPR資材の掲出や販促資材の配布などを通じて購入を呼びかけました。



真岡北陵高校(荒町店)

\\ 私たちが育てた とちぎ和牛です! //



那須拓陽高校(永田店)



宇都宮白楊高校(平松店)



鹿沼南高校(鶴田店)

訪れたお客さんは「高校生が育てたと聞いて、試食をしてみたら、予想以上に柔らかくておいしかった。今後もおいしい立派な牛を育ててほしい」と高校生たちを激励しました。

営農・経済担当者向けに研修会を開催

営農販売企画部は4月24日、JA佐野管内の圃場にて、スマート農業の普及と理解促進を目的としてスマート農業研修会を開催しました。

研修会にはJAの出向く活動担当者や生産者、関係者ら40名以上が参加し、ヤンマーアグリジャパン(株)担当者より機械の説明、可変施肥マップとの連携方法について説明があった後、ザルビオフィールドマネージャーと連携した可変施肥田植え機の実演を見学しました。



機械の説明をするヤンマー担当者(左)



実演の様子

若手職員向けに直進アシスト田植機の研修会を開催

生産資材部は5月15日、栃木市の圃場で、おやま・しもつけ広域農機センターの職員を対象に「ザルビオ&直進アシスト田植機 取り扱い研修会」を開催しました。

はじめにヤンマーアグリジャパン(株)からザルビオの説明と可変施肥直進アシスト機能付き田植え機との連動について説明があり、その後、各センターの若手職員を中心に直進アシスト田植え機を実際に運転しながらその機能について学びました。

若手職員は体験後、「今回初めて運転したが、直進アシスト機能のおかげでまっすぐ植えることができた」と驚いた様子で話しました。



運転方法を教わる若手職員



直進アシスト機能を活用した田植えの様子

ザルビオの農機連携は、衛星データで圃場内の地力差を把握し、可変施肥を行うことにより、圃場の平準化・基肥の削減・収量の向上が見込め、農作業省力化・高品質化に繋がります。本会は今後も、研修会等の開催を通じ、スマート農業の普及と担当者のレベルアップを支援してまいります。



「令和5年度 人材育成技術研修会」を開催

－ 今年度の新人農機職員向け研修プログラムがスタート －

生産資材部は昨年より、新人の農機担当職員を対象とした人材育成プログラムを作成し、実践を始めました。1年間を通して体系化された本プログラムにより、技術指導・試験・講習会・資格取得支援などを通じて基礎的な内容から実習・実践までを学ぶことが可能です。

4月18日～20日、「令和5年度 人材育成技術研修会」を開き、今年度の人材育成プログラムがスタートしました。対象となる9名の新人農機職員は3日間、基礎的な農業用語や工具の使い方、農作業安全について座学で学んだほか、主要機種の見学や技術指導員による運転操作説明などを受け、農業機械の基礎知識をつけました。

生産資材部の猪瀬次長は「生産者を支援することが我々の使命である。技術だけでなく心と体を鍛え、1日でも早く生産者の力になってほしい」と新人職員らを鼓舞しました。



挨拶をする猪瀬次長



操作方法を教わる新人職員ら

広報誌「Apron (エプロン)」栃木のにらを取材

4月20日、JAしもつけニラ部会長の野尻真悟さんのご自宅に、全農の広報誌「Apron (エプロン)」の取材が入りました。

取材当日は、実際の作業場やハウスに伺い、収穫間近のにらの様子や作業風景の写真撮影を行ったほか、インタビューを行いました。野尻部会長は、終始笑顔で栃木のにらの魅力や栽培のこだわりをお話されていました。



刈り取り直後のにらは水分が滴ります！



調整作業のようす



インタビューのようす

今回の具体的な取材内容は、2024年6月号「ふるさと探訪コーナー」に掲載予定ですので、皆様も是非ご覧ください。

Apronとは

- * 「Apron」は、消費者向けに「食」と「農」の情報を発信している広報誌で、毎月約36万部が発行されています。
- * 配布場所…全国のAコープ店舗、本会・グループ会社の取引先量販店・生協店舗、県本部・経済連・グループ会社の店舗、各地のJA農産物直売所、厚生連病院など



県産カーネーションのプレゼントイベントを開催



“5/14母の日”に向けて県産花きをPR

園芸部は5月6日、“母の日”を目前に、宇都宮市の「ミナテラスとちぎ」でカーネーションのプレゼントイベントを開催しました。同施設に訪れた先着100名様に2本1束の色とりどりの県産カーネーションを無償で配布し、県産花きをPRしました。

一般消費者を対象に県産花きの知名度向上・販売促進につなげ、コロナ禍で落ち込んだ花き需要を回復させようと企画し、カーネーションのプレゼントの他、14日の母の日まで同施設内で花きの飾り方紹介、産地紹介などを行いました。



プレゼントイベントの様子



母親にカーネーションを贈る女の子

ビール大麦収穫目前 県内の圃場を調査



米麦部は5月9日、ビール大麦の収穫期を目前に、収穫見込み数量や病虫害等の発生状況などを確認するため、作柄概況調査を実施しました。

当日はビール会社各社、ビール酒造組合、県などの関係者ら約40名が参加し、大田原市（JAなすの管内）、宇都宮市（JAうつのみや管内）、佐野市（JA佐野管内）の県内3カ所の圃場を巡回し調査を行いました。

調査を行った県の担当者からは「作柄は平年並みだが、高温の影響で出穂は過去最速レベル。収穫が例年より早まる見込みなので、適期収穫に向けて早めの準備を」と注意喚起がありました。

本会米麦部の富田康之部長は「今回の調査結果を県内各JA、生産者の皆様と共有し、次年度の生産振興、品種改良に繋げていく」と挨拶しました。

〈調査の様子〉



大田原市



宇都宮市



佐野市



JAグループ栃木 交雑種枝肉共励会を開催

畜産部は、5月11日に東京都中央卸売市場食肉市場にて、「第47回JAグループ栃木交雑種枝肉共励会」を開催し、県内各産地から27頭が出品されました。

審査の結果、須藤さん(JAうつのみや)が最優秀賞を獲得しました。受賞された皆様おめでとうございます！

今後も栃木の畜産を盛り上げるため、本県系統交雑種銘柄の知名度向上、販路拡大につとめてまいります。

受賞者は右記の通り。(敬称略)

	受賞者	管内JA
最優秀賞	須藤 貢	JAうつのみや
優秀賞1席	(株)小池畜産	JAしおのや
優秀賞2席	(株)長谷川農場	JA足利
優良賞1席	梁島 史好	JAうつのみや
優良賞	松山 敏幸	JAうつのみや
優良賞	梁島 史好	JAうつのみや

とちぎの卓球少年・卓球少女を食で応援！

全農杯全日本卓球選手権大会 栃木県予選会

5月14日、小学生の卓球日本一を決める「全農杯全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)」の栃木県予選会が真岡市で開催され、各階級の(ホープス=小学6年生以下、カブ=小学4年生以下、バンビ=小学2年生以下)合計106名が全国大会出場の座をかけて戦いました。

本会は、上位入賞選手に「とちぎ和牛」「とちぎゆめポーク」、精米「とちほのか」「とちぎの星」などを贈呈し、選手にエールを贈りました。

副賞を受けとった子どもたちは「お米こんなにもらえたよ!」「早くお肉食べたい!」と笑顔を見せ、ご家族と楽しそうに話していました。



副賞が贈られた上位入賞選手たち

栃木の酒造が集結 「新酒楽しんで」

栃木県酒造組合「下野杜氏 新酒発表2023」

栃木県酒造組合が主催する「下野杜氏 新酒発表2023」が5月17日、都内で開催され、24の蔵元がそれぞれ自慢の新酒を中心にお披露目を行いました。

第1部は酒販店・飲食店・小売業者などを対象に、第2部は一般のお客様を対象に開かれ、首都圏を中心に全国から計500名以上が参加し、栃木の新酒を味わいました。

栃木県酒造組合の斎藤事務局長は「コロナも落ち着いてきたので、栃木のお酒でどんどん乾杯していただき、地酒を楽しんでいただきたい。ここ最近で特に、どの酒造もどんどん力をつけてきているので、これを機に栃木のお酒の認知度向上を図りたい」と話しました。



利き酒をする参加者

お知らせ

ヨークベニマル



たちつとちぎフェア4周年!



毎月、月末の週末に県内のヨークベニマル全店で開催している栃木県産フェア「たちつとちぎフェア」が、今年の5月で4周年を迎えました!

たちつとちぎフェアは、各部門が一体となり“産地とちぎ”ブランドをPRしようと思った取り組みで、とちぎの旬な青果物やお肉・お米・お花を幅広く販売しています。現在は、店内でレシピ動画を放映するなどの県産食材を使ったメニュー提案なども行っています。

5月は19日(金)～21日(日)の3日間に渡り開催され、売り場では旬のトマトや幻の“真岡メロン”などを販売したほか、店舗限定で県産米の食べ比べ試食販売を行いました。フェア恒例のLINE抽選会キャンペーンでは4周年記念として、とちぎ和牛を通常の2倍の“20名様”にプレゼントしました。



県産米試食販売のようす



レシピ動画の放映



フェア時の店内

簡単レシピ

かれいのタイ風から揚げ



(アドバイス表2022年6月あじわいコースP33)

〈材料〉(2人分)

- ・カラスガレイ切身…………… 2切 (200g)
 - ・片栗粉…………… 適量
 - ・油…………… 適量
 - ・スイートチリソース…………… お好みで
 - ・レモン…………… お好みで
- ④
- ・しょうゆ・砂糖・ナンブラー…………… 各小さじ1
 - ・酒…………… 大さじ1
 - ・にんにく(すりおろす)…………… 一片

■作り方■

- ① かれいは骨を除いて食べやすい大きさに切り、④で下味を付ける。
- ② ①の汁気をきり、片栗粉をまぶして揚げ油で色良く揚げる。
- ③ お好みでスイートチリソースやレモンを添える。



ポイント!



栃木推進課 管理栄養士 高橋雲世さん

カレイはたんぱく質を多く含んでいて脂肪分が少ない魚です。カロリーも低く、消化吸収がよくヘルシーです。豊富に含まれるタウリンは、動脈硬化の予防や防止、コレステロール値の低下、血糖値のコントロールなどに効果があるといわれています。

ふれあい食材についてはこちらから!





子牛市場情報

令和5年度5月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	179	176	972,400	243,100	526,106	299(296)	1,756	-22,183
	雄								
	去勢	224	221	1,090,100	299,200	706,085	337(293)	2,090	-54,759
	合計	403	397	1,090,100	243,100	626,296	320(294)	1,952	-48,076
2日	雌	168	165	954,800	248,600	490,100	305(298)	1,606	-70,727
	雄	-	-	-	-	-	-	-	-
	去勢	193	191	998,800	342,100	667,861	339(294)	1,967	-59,270
	合計	361	356	998,800	248,600	585,471	323(296)	1,809	-60,556
5月期合計	雌	347	341	972,400	243,100	508,683	302(297)	1,683	-46,639
	雄								
	去勢	417	412	1,090,100	299,200	688,365	338(294)	2,033	-56,322
	合計	764	753	1,090,100	243,100	606,995	322(295)	1,884	-52,754
概況	5月の矢板家畜市場は、764頭上場にて753頭が成立し、前年同月比7頭減となりました。平均価格は対前月比雌46,639円安、去勢56,322円安となりました。								
	5月の矢板家畜市場は大きく価格を下げ、上下価格差のある取引となりました。								
購買者数		1日目：132人		2日目：137人					

○次回開催/2023年6月1日～2日 出場予定:各350頭(2023年7月の開催は、3日・4日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



季節商品のご紹介

「ぶどう(巨峰)」

粒の大きさと濃厚な甘さが特徴のぶどうの王様“巨峰”の販売が始まりました！

生産者のぶどうへの愛情が生み出す、宝石のような巨峰を、是非お試しください！贈り物にも最適です！申込期限がありますので、お早めに♪

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪



とちぎ新鮮倉庫

検索

6月の行事

- 1日(木) 矢板子牛市場 畜産部
- 2日(金) 矢板子牛市場 畜産部
- 3日(土) Aコープ東日本 田植え体験ツアー 米麦部
- 15日(木) 栃木県民の日
- 18日(日) 父の日



★2日・23日(金)7:33～ CRT栃木放送

★7日・14日・21日・28日(水)17:15～ RADIO BERRY

編集後記

6月になりました。今月で栃木県は150歳を迎えるそうです。記念イベントや施設割引等あるので、これを機におでかけするのもいいですね(*^^)

最近雨が多くなってきて、今年もそろそろ梅雨入りでしょうか…。雨の夜は、雨音を聞きながら部屋でゆっくり読書するのがおすすめです。気づいたら寝ているのもまた一興です。(みう)



とちぎの花を飾ろう

6月15日は栃木県民の日

この機会に「とちぎの花」を飾ってみませんか？
「とちぎの花」で自分らしいライフスタイルを



輪菊



スプレーマム



トルコギキョウ



バラ



ユリ



カーネーション



©栃木県 とちまるくん

ZOTF
zennoh tochigi flower



この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。